

C14b 開始から 50 回を迎えた貴重書展示について

松田浩, 片山真人, 堀真弓, 久保麻紀 (国立天文台), 伊藤節子 (元国立天文台)

国立天文台 天文情報センター 暦計算室と図書室は、共同で国立天文台所蔵の 3000 点あまりの天文に関する貴重書、暦書の展示を 20 年以上にわたって続けてきた。

1991 年に伊藤によって始められた公開は、展示場所を国立天文台の三鷹本館ロビーから、歴史館の一階に移しているが、これまでに (最初の公開を回数に入れると) 50 回を数えるまでになった。

この展示や、そのウェブを見て、天文の歴史に興味を持たれた方や、研究者やマスコミの中にも、改めて図書室へ資料を見に来られた方もいるようである。また、展示されたものに限らず、多くの天文・暦書、星図類などの一部をデジタル化して図書室のウェブ「貴重資料」(<http://library.nao.ac.jp/kichou/index.html>) で公開している。

今回の講演では、これまでの取り組みを紹介する。

国立天文台図書室ホーム > 貴重資料 > 貴重資料展示室

<http://library.nao.ac.jp/kichou/open/index.html>